

2012年8月6日

都道府県拠点病院 院長 殿

特定非営利活動法人 日本医療政策機構  
がん政策情報センター  
センター長 埴岡 健一

「がん政策サミット 2012 秋」  
～患者と地域に成果をもたらす県計画に仕上げよう～  
開催のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。私どもは「患者・市民が政策立案プロセスを主導することにより、最上の医療を社会全般に実現する」というミッションもと、がん領域で患者アドボカシー活動を支援しております。（詳細は、各種検索サイトから「がん政策情報センター」で検索してください。）

このたび、「がん政策サミット 2012 秋」を、10月6日、7日に奈良県で開催することが決まりましたので、ここにご案内申し上げます。今回のテーマは「患者と地域に成果をもたらす県計画に仕上げよう」です。

都道府県がん計画策定中の今だからこそ、患者さんを始め、関係ステークホルダーの方々と意見交換をする機会にぜひご参加いただきたく、お願い申し上げます。

敬具

記

■開催概要等詳細は添付をご参照ください。

■参加お申込み

URL 入力: <http://app.odoroki.biz/GA4.asp>

または、添付申込書に記載の上 FAX: 03-3222-6535

締め切り: 8月17日(金)

■ご参考: これまでの「がん政策サミット」

検索サイトから「がん政策情報センター」>TOP ページ「がん政策サミット」をクリック

■お問い合わせ

がん政策サミット事務局 e-mail: [gsum@hgpi.org](mailto:gsum@hgpi.org), Tel:03-3222-6532, Fax:03-3222-6535

以上



## がん政策サミット 2012 秋 開催概要 【医療提供者】

- テーマ 患者と地域に成果をもたらす県計画に仕上げよう
- 日時 2012年10月 6日(土) 13:00~18:00 その後任意参加の懇親会  
7日(日) 9:00~18:00  
8日(月・祝) 9:00~12:00 ※患者関係者のみ
- 会場 かしはら万葉ホール(奈良県橿原市)  
〔アクセス〕近鉄大和八木駅から徒歩約20分(タクシーで約5分)  
近鉄畝傍御陵前駅から徒歩約15分
- プログラム 別紙の通り
- 参加費 無料
- ご案内対象
- 患者関係者
- ・都道府県がん対策推進協議会および部会、県計画策定委員会の患者関係委員で、当方で連絡先が分かる方
  - ・過去にがん政策サミットに参加経験があり当方が運営するメーリングリストに参加している方
  - ・上記に該当しない一般公募枠で参加希望される方(簡単な審査あり)
- 議員
- ・国会議員
  - ・都道府県議会
    - ・各都道府県議会医療関連部会に所属されている方でFAX番号が分かる方
    - ・過去にがん政策サミットに参加経験がある方
    - ・参加患者関係者からご案内希望があった方
- 行政
- ・厚生労働省がん対策関係者
  - ・都道府県庁がん対策担当者
- 医療提供者
- ・都道府県がん対策推進協議会会長
  - ・都道府県拠点病院長 など
- 民間
- ・がん政策情報センタープロジェクト支援企業、他企業
  - ・学術関係者
- メディア
- ・全国紙、地方紙など
- 個人情報の取り扱いについて
- 個人情報の取り扱いについては、日本医療政策機構の個人情報保護方針(<http://www.hgpi.org/privacy.html>)に基づいて行います。
- イベント開催の様子を、スタッフ(または専門のカメラマン)が、写真撮影を行います。また、メディアによる取材撮影が入る場合があります。撮影した写真は、(登壇者等プログラムに個人名が公開されている場合を除き)個人が特定されない形で次の用

途に使用いたします。

- 1) イベントの記録として(内部資料)
- 2) イベントおよびがん政策情報センタープロジェクト紹介のための資料(ウェブサイト掲載含む)として(外部向け資料)

参加申込シートに、写真使用の承諾欄を設けますので、ご意向をお知らせください。ご承諾をいただけない場合(写真掲載にご支障がある場合)は、誠に勝手ながらイベント名札の色を特定させていただきます。これにより、極力被写体とすることを避け、また映った場合でもその写真を資料に使用しない措置を取るものですので、ご理解ください。

#### ■交通

奈良までの交通は、ご自身で手配・ご負担をお願いします。

当方が指定するホテル最寄駅と会場間には、開始/終了時間に合わせ無料シャトルバスを運行します。

#### ■宿泊

会場近辺のホテルのご予約を承ります(詳細本紙最後に記載)。

ご希望の方はサミット参加申し込みと併せてご連絡ください。

費用は自己負担とさせていただきます。

#### ■飲食

懇親食事会(6日)3000円、会議中昼食1000円(7日)を申し受けます。

会議参加申し込みと併せて、申し込みください。

#### ■その他

- ・がん政策サミットは相互学習型イベントです。事前に資料を読んでいただいたり、意見を出していただきます。また当日は、プログラムへの積極参加をお願いします。
- ・当日までのご連絡等は、基本 e-mailで行い、資料共有などはインターネットを通じて行います。

e-mail やインターネットの使用にご不便がある方は、極力連絡窓口を手伝ってくれる方を見つけてください。それが叶わない方は、事務局にてご相談承ります。

#### ■参加申込

下記URLにある「がん政策サミット2012秋 申し込みフォーム」より

**医療提供者用:** <http://app.odoroki.biz/GA4.asp>

① フォームに準じてご入力ください。(所要時間:10分程度)

※ご参加がかなわない方は、お手数ですが、「申し込まない」を選択のうえ、ご連絡先等の入力をお願い申し上げます。

② ページ末尾の「確認」ボタンを押し、確認画面で内容をご確認のうえ「登録」ボタンを押すと送信が完了します。必須項目に入力がないと送信できませんので、ご注意ください。

※ インターネットでのご回答が難しい場合には、参加申込票に記入の上、FAX(03-3222-6535)か、e-mailにてお送りください。

#### ■申込期限

8月17日(金)まで

#### ■申込確認

事務局にてお申し込みを承った確認は、ホテルの情報と併せて、8月末日まで に



e-mailでご連絡いたします。申し込みをしたのに8月末日までに確認が取れない場合は、事務局までご連絡ください。

■問い合わせ 日本医療政策機構市民医療協議会 がん政策情報センター  
「がん政策サミット2012秋」事務局：岩井、笹原  
TEL: 03-3222-6532, FAX: 03-3222-6535, e-mail: gsum@hgpi.org

■ホテル情報■

必要な方は、サミット参加申し込みと同時にご希望をお寄せください。

なお、ホテルの割り当てに関しましては、希望先着順とさせていただきますので、必ずしもご希望に添えない場合がありますこと、ご了承ください。

■榎原観光ホテル 和室2名利用朝食付 ¥9,000-  
奈良県榎原市久米町 862、TEL. 0744-22-3235、 FAX. 0744-23-2098、最寄駅:近鉄榎原神宮前駅

■榎原ロイヤルホテル ツイン1名利用朝食付 ¥14,000-, 同2名利用 ¥10,800-  
奈良県榎原市久米町 652-2、TEL: 0744-28-6636、FAX: 0744-28-6644、最寄駅:近鉄榎原神宮前駅

■サンホテル大和郡山 シングル朝食付 ¥6,500-  
大和郡山市筒井町 635-1、TEL: 0743-23-0111、FAX: 0743-23-0101、最寄駅: 近鉄筒井駅  
※筒井駅から大和八木駅まで乗車時間約 18 分  
ここにご宿泊の方は、会場受付にて 2 往復相当運賃 1160 円をお支払します。

■大和榎原シティホテル シングル朝食付¥8,000-, ツイン2名利用朝食付 ¥7,700-  
奈良県榎原市八木町 1-8-16、TEL: 0744-23-5151、FAX: 0744-25-7511、最寄駅:近鉄大和八木駅

「がん政策サミット 2012 秋」  
～患者と地域に成果をもたらす県計画に仕上げよう～  
プログラム【仮】

\*プログラムは一部、変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

■10月6日（金） 13:00～18:00

奈良県知事 あいさつ

来賓あいさつ

参加者自己紹介

特別プログラム「地域に最適ながん拠点病院制度とは」（意見交換会）

懇親会（会費制）

■10月7日（土） 9:00～18:00

徹底討議「患者と地域に成果をもたらすために」

セッション1：都道府県計画の策定状況を知る

講演：「患者視点からのがん対策評価」（仮）

セッション2：みんなの意見を共有する（参加者事前アンケートから）

セッション3：都道府県計画を患者視点でどう評価するか

セッション4：「がんサミ版・患者調査票」を作ってみよう

■10月8日（祝・月）患者関係者のみ 9:00～12:00

日常活動の成果と悩み意見交換会

（アドボカシーワークブック第2章「マネージメント」編を参考に）

全体まとめ

午後の関連イベント

- ・「第2回市民公開タウンミーティング」～奈良県のがん医療を考える～  
13:00～（12:30 開場）

主催：あけぼの奈良、奈良県のホスピスとがん医療をすすめる会  
参加対象者：奈良県のがん医療に関心のある方はどなたでも

- ・奈良歴史ツアー（任意参加、自己負担）  
12:30～16:00 頃 近鉄大和八木駅解散

「がん政策サミット」とは

□がん対策に関わる関係者が一堂に会するイベントで、2009年から年に2回（原則）、これまで6回開催しています。

□趣旨

参加者が持ち寄る知識とプログラムの内容によって、参加者は次のようなことを期待できます。

○政策を知ることができます

がんに関する政策の新しい動向を知ることができます。政策を作っている国会議員や厚生労働省がん対策担当者などと意見交換ができます。

○知識、ノウハウなど情報を共有できます

がんの現況、がん対策の現況、各地の取り組み、活動ノウハウなどを共有できます。

○ネットワーキングができます

全国のがん対策に取り組む人々と出会うことができ、それが今後の励みになると同時に、ここで形成された人脈がその後の活動に役立ちます。

□参加者（これまで）

- ・患者関係者 国・都道府県のがん対策推進協議会の患者関係委員、各地のがん患者アドボケート
  - ・政治家 がん議連幹部、国会議員、都道府県議会議員など
  - ・行政関係者 厚生労働省がん対策担当者、都道府県庁がん対策担当者など
  - ・医療関係者 がん関連学会幹部、県拠点病院幹部、拠点病院幹部、都道府県がん対策推進協議会長など
- （\*マスコミ関係者、寄付企業関係者も参加します）

□参考サイト

- ・がん政策サミット

[http://ganseisaku.net/impact/events/gan\\_summit/gan\\_summit\\_2012\\_spring/reports/](http://ganseisaku.net/impact/events/gan_summit/gan_summit_2012_spring/reports/)

- ・アドボカシーワークブック

<http://ganseisaku.net/impact/training/workbook/download.html>

- ・都道府県がん対策カルテ

<http://ganseisaku.net/practices/whitepaper/databook.html/chapter2.pdf>

- ・がん政策情報センタープロジェクト 第1期（2009~2011）報告書

<http://ganseisaku.net/mission/phase1.html>

□主催者 がん政策情報センターについて

がん政策サミットは、がん政策情報センターが主催しています。同センターは日本医療政策機構の1ユニットです。

- ・がん政策情報センター

<http://ganseisaku.net/>

- ・日本医療政策機構

<http://www.hgpi.org/>

※できるだけ、こちらのURLからご回答をお願いします <http://app.odoroki.biz/GA4.asp>  
インターネットでの回答が難しい場合は、以下をご記入いただき、FAX(03-3222-6535)送信ください。

**「がん政策サミット2012 秋」参加申込票(医療提供者用)**

10月6日プログラム参加	申し込む ・ 申し込まない
10月6日懇親食事会(会費:3,000円)	申し込む ・ 申し込まない
10月7日プログラム参加	申し込む ・ 申し込まない
10月7日お弁当(代金:1,000円)	申し込む ・ 申し込まない

■確認事項

ご自身が被写体となっているイベント時に撮影した写真を、イベント報告、プロジェクト紹介等の資料に使用することを	<input type="checkbox"/> 承諾します <input type="checkbox"/> 承諾しません (イベント開催中、資料写真の対象にならないことを意味するため、特定の色の名札をつけていただきます)
宿泊予約を	<input type="checkbox"/> 希望します →2ページ目も記載の上、返信してください <input type="checkbox"/> 希望しません

■ご連絡先

ご芳名(ふりがな)			
都道府県名			
ご所属			
役職			
ご住所	〒		
TEL		FAX	
eメール <sup>※1</sup>			

■特記事項 (宿泊の手配等についてご相談がありましたらご記入ください)

--

※1 今後、本イベントに関するご連絡は、原則eメールでご案内いたします。定期的にご確認をお願いいたします。  
ご記入頂いた個人情報は、日本医療政策機構 市民医療協議会が責任をもって管理し、本イベントの諸手続きにのみ使用いたします。

■宿泊予約を希望される方はこちらまで返信ください。

- ・日にちごとに、ご希望ホテルの順番を(1,2,3...)と枠内にご記入ください。不要な日がある場合は、「この日は不要」の欄に、✓(チェック)を入れてください。
- ・ホテルは必ずしもご希望に添えるわけではないこと、ご了承ください。
- ・お支払いは、現地払いでお願いいたします。

お名前

	10月5日(前泊)	10月6日	10月7日
橿原観光ホテル 和室 2 名利用朝食付 ¥9,000-			
橿原ロイヤルホテル ツイン 1 名利用朝食付 ¥14,000-, 同 2 名利用 ¥10,800-			
サンホテル大和郡山  シングル朝食付¥6,500- 会場まで電車乗車が必要			
大和橿原シティホテル シングル朝食付¥8,000-, ツ イン 2 名利用朝食付 ¥7,700-			
近鉄奈良駅近辺  シングル朝食付¥9,800-			
この日は不要			

特記事項



## がん政策サミット2012秋 アクセス案内

### ■会場

かしはら万葉ホール 5階レセプションホール  
 奈良県橿原市小房町11番5号

### ■ホテル

**橿原観光ホテル** (2名1室和室のみ)  
 奈良県橿原市久米町862  
 TEL.0744-22-3235 FAX.0744-23-2098

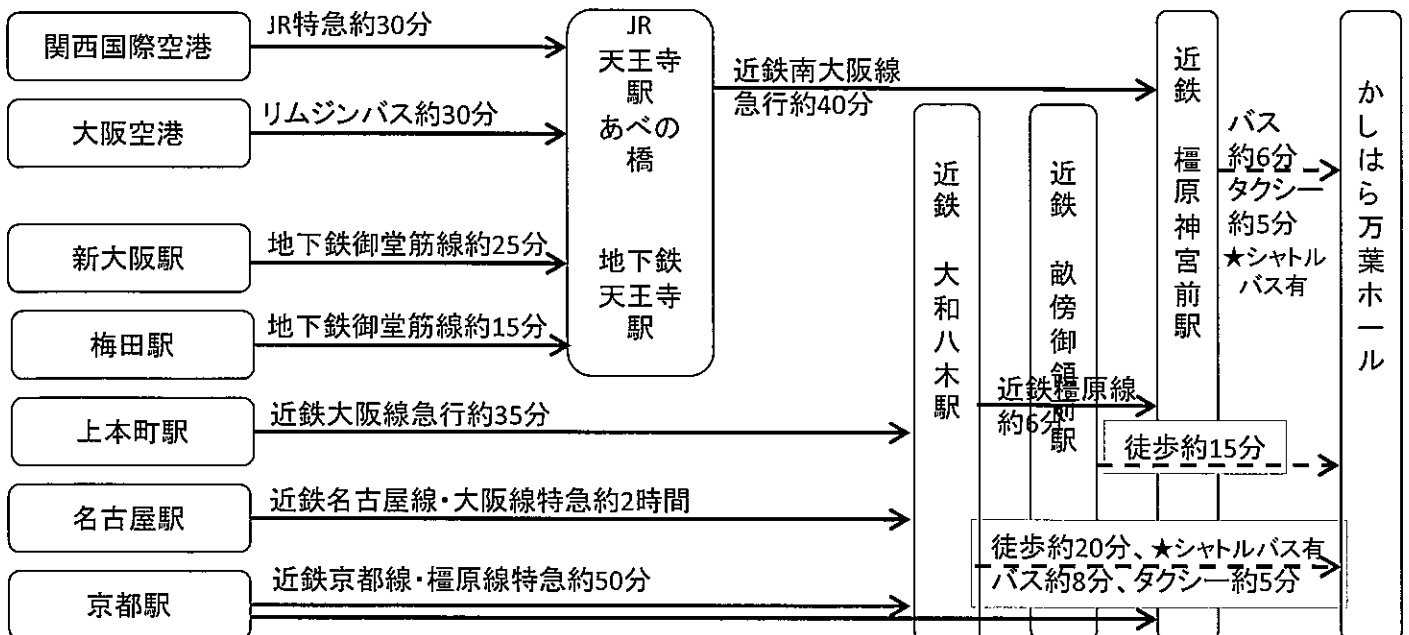
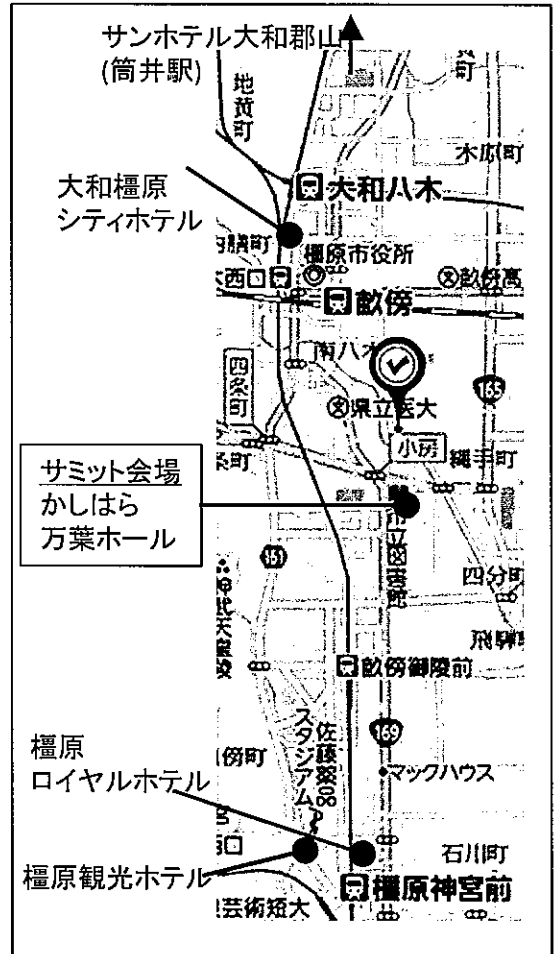
**橿原ロイヤルホテル**  
 奈良県橿原市久米町652-2  
 TEL: 0744-28-6636 FAX: 0744-28-6644

**サンホテル大和郡山**  
 大和郡山市筒井町635-1  
 TEL:0743-23-0111 FAX:0743-23-0101  
 ※ホテル最寄駅(筒井)から大和八木駅まで乗車時間約18分  
 ここにご宿泊の方は、会場受付にて2往復相当運賃1160円をお支払します

**大和橿原シティホテル**  
 奈良県橿原市八木町1-8-16  
 TEL: 0744-23-5151 FAX: 0744-25-7511

### ■シャトルバス

全日サミット開始/終了時間に合わせた、シャトルバスを運行します。  
 <かしはら万葉ホール-橿原神宮前駅-近鉄大和八木駅 巡回>  
 ※サミットの名札掲示により、無料でご利用いただけます。  
 ※シャトルバスの運行以外の時間はご自身で移動してください。



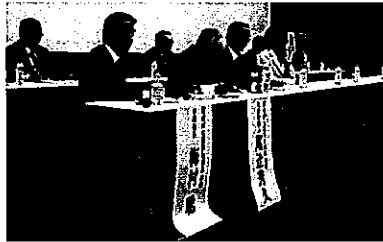
## 特別プログラム

# 国会がん患者と家族の会 総会

(超党派議員連盟)

「地域がん登録の体制整備を考える」というテーマで、同会事務局長の梅村聡さんによる問題提起のあと、意見交換が行われました。会場の患者関係者からは、「地域がん登録を法制化してデータを揃え、治療・研究の開発、がん登録にかかる人的リソースの確保につなげてほしい」という声が相次ぎました。

同会代表世話人の尾辻秀久さんは、「難しい法律なので、議員立法で議員が命がけでやるしかない。若手の議員が『命をかける』とおっしゃらないと、成立しない。」と強調されました。



当日は、衆議院本会議と重なったため、参議院から議員6人、議員秘書14人が参加。日本医学会会長、厚生労働省健康局長、国のがん対策推進協議会長も参加し、熱心に会場の声に耳を傾けていました。

## 参加者の声から

- 適切なテーマ設定であった。[患者関係者]
- 患者会(自分たち)が県計画策定にどうかかわっていくのかが理解できました。[患者関係者]
- まさに今、職場で毎日議論しているテーマでもあったので、そのテーマで自分たち以外の多くの人々の意見を聴けたことが大変役に立った。[行政担当者]
- (国のがん計画セッションを受けて)県計画のチェックポイントが分かったような気がする。[県議会議員]
- 患者さんの意見を直に多く聞いてよかった。[医療提供者]
- 患者/行政/議員/医療者/民間/メディアを共通のプラットフォームに乗せてヨーイドンで議論を行うスタイルは成果に結び付けやすいし、それを全ての都道府県をまたいで行うことで全国一律の活動を行える。もしくは競いあって進めて行くことで、情報の横連携、好事例の共有化ができる仕組みができていくのが素晴らしいと思う。[傍聴参加者]
- 実際に会って話ができる場があるのはとても役に立っています。サミットの継続を望みます。[患者関係者]

## 患者関係者セッション「患者主体でがん対策を進めるには」

サミット3日目は、患者関係者のみを対象とした「アドボカシーワークブック勉強会」と「患者主体でがん対策を進めるには」を開催しました。

勉強会では、日常の患者会/アドボカシー活動に関して意見を交わしました。ある参加者からの「時間と体力に制限がある人が、どうしたらリーダーとなり得るのか」という問いかけは、参加者の共感を呼びました。日ごろは各地で個々に活動する患者アドボケートの心がつながった瞬間でもありました。

また、米国の代表的アドボケートのひとりであるポーラ・キムさんより、アドボカシー活動のポイント10カ条に関する話がありました。また、自身が患者会を立ち上げた経緯、自分の活動ポリシーの話と共に、「大切なことから始めましょう」というメッセージが伝えられ参加者は大変励まされたようです。

後半のセッションでは、サミットのグループワークを通じて感じた、関係ステークホルダーとの協働について意見が交わされました。その中で、「サミットで使われている用語が難しすぎる」というお声があった一方で、「患者が勉強して相手の言葉についていく努力も必要」「行政と話すときには行政用語を使えないといけない」という積極的な意見も出ました。



がん政策サミットは、患者関係者同士の出会いの場、共感、励まし合いの場でもあります

## がん政策サミット 2012春

「患者主体でがん対策を進めるには」

日本医療政策機構 市民医療協議会



※肩書きは開催当時のものです。がん政策サミットのレポートは <http://ganseisaku.net/> に掲載中。

# がん政策サミット 2012春

～ 都道府県第2期がん計画を、六位一体でより良いもの～  
2012年5月11日(金)、12日(土)、13日(日)



日本医療政策機構 がん政策情報センターは、2012年5月11日(金)から13日(日)の3日間、東京都千代田区で「がん政策サミット2012春」を開催しました。都道府県第2期がん計画策定の年にあたる今回は、「六位一体でより良いがん計画策定を行う」をテーマとしました。都道府県がん対策推進協議会(またはそれに準ずる会)の現患者委員と委員経験者、および公募枠による患者関係者計65人(31都道府県)、都道府県議会議員24人(18都道府県)、都道府県庁のがん対策担当者37人(26都道府県)、都道府県がん対策推進協議会(またはそれに準ずる会)の会長および都道府県がん診療連携拠点病院の医師計14人(11都道府県)、総勢140人が参加。加えて民間の立場として企業関係者、学術関係者、メディアなどが傍聴参加しました。がん計画策定のワークショップでは、事前に調べた情報を参考に、立場を超えて白熱した議論が交わされました。また、国のがん対策推進協議会、厚生労働省の協力を得て開催した「特別セッション・国の計画を学ぶ」では、閣議決定間近の国のがん計画に関する説明があり、全国から参加した関係者が聞き入る場面もありました。

## 計画の作り方を学び合い、地元を持ち帰る

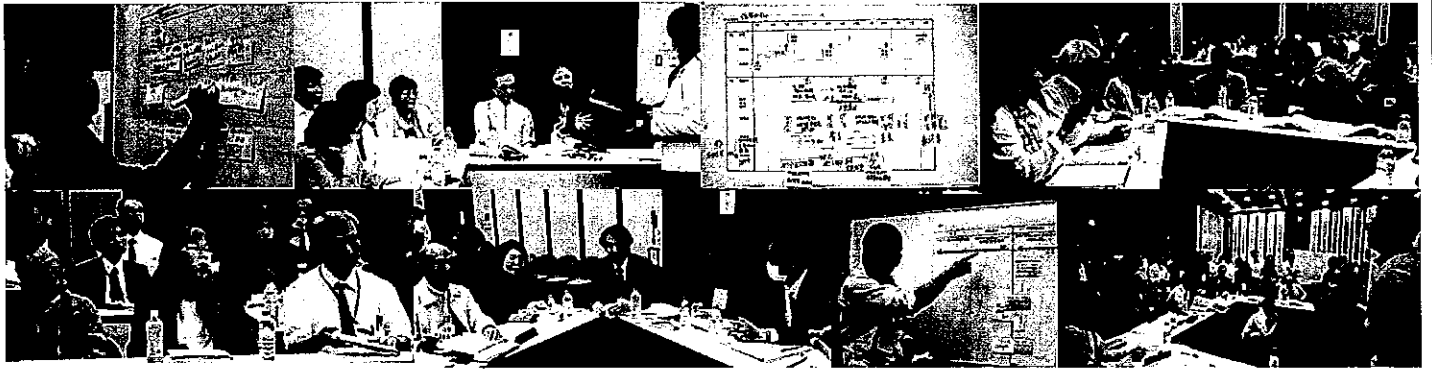
今回のサミットでは、世界保健機関(WHO)のがん対策シリーズ第1巻「計画策定」で提唱されている 1)現状を知る、2)目標を設定し計画を策定する、3)実行し評価する、の3ステップに従い、都道府県がん計画を策定する「やり方」について学びました。

セッション1「地域の現状を知る」では、データを確認することの重要性を再確認し、セッション2「患者・現場・地域の声を集める」では、生の声を集める有効な方法について議論しました。

セッション3「計画を組み立てる」では、あるべき姿＝最終目標達成のために必要な施策を考えるプロセスについて、ロジックモデルを使用して考えました。

セッション4「日程案を作る」では、がん計画策定のために必要な活動のカレンダーを書きました。

全プログラムを、「地元を持ち帰る」ことを意識して組み立てました。今後ここで得た情報と知恵を、参加者が自県のがん計画策定にどう生かせるか、カギはここにあるといえます。



## 特別セッション 「国のがん計画から学ぶ」

都道府県がん計画策定にあたっては、国の情報を理解しておくことも大切です。

国のがん対策推進協議会会長・門田守人さんからは、国の第2期がん計画では質の評価をしていく必要があることが述べられ、厚生労働省がん対策推進官・鷺見学さんからは、がん対策の質の評価は簡単ではないものの、今後指標の構築に向けて厚労省として取り組んでいく旨が話されました。

国のがん対策推進協議会に患者の立場として参画し、同会の会長代理も務める天野慎介さんからは、同じ立場であるサミット会場の患者関係者に向けて、「救える命が救えるようになっているか」「命をかけて何かなすべきことができていくか」という問いかけがなされました。

最後に、2012年4月に国立がん研究センター理事長に就任された堀田知光さんからは、国の第2期がん計画に書かれた国立がん研究センターの役割に加え、研究所が生み出したシーズを実際の治療に生かす取り組みへの抱負が述べられました。

